### 投 稿

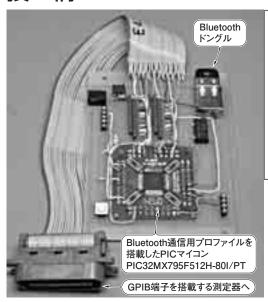


写真1 製作したワイヤレス GPIB「B-GPIB」 GPIB機器とパソコンを無線で接続できる

## ● 取り回ししにくいGPIB通信のケーブルを無くしたい

計測器とパソコンの間をつなぐGPIB(General Purpose Interface Bus)規格はかなり古いものですが、いまでも数多くの応用機器において現役です。ただし有線ですから、遠くにGPIB機器があると、あの太いケーブルを長く引き回す必要があります。

これを避けるため無線 Bluetooth ドングルと PICマイコンを用いて、GPIB 機器とパソコンとの間を無線接続するための装置 (写真1、以降B-GPIB)を作成しました.

#### ● システム構成…混信に強い Bluetooth を使う

システム全体としては図1のような構成になります. GPIB機器1台につきB-GPIB1台が必要です. 1台のパソコンで7台までのGPIB機器を制御できます. 7台までというのはBluetoothの制約です. ZigBeeでなくBluetoothを選択した理由は、混信に強いからです.

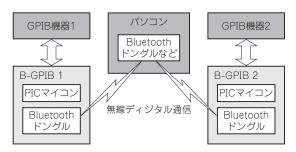


図1 機器どうしのGPIB通信を無線化するためのシステム構成 GPIB機器1台につきB-GPIB1台が必要

# 専用ケーブルより安価! 到達距離60 mで混信にも強い

# Bluetooth ドングルとPIC で作るワイヤレス GPIB

辻見 裕史

さらにBluetooth ドングルには、

- ZigBee モジュールに比べ小さくて違和感がない
- 近くの電気屋ですぐ手に入る
- 安価(千円程度)である

という利点があります.

### ● 製作した装置の特徴

▶GPIBケーブル1本より安価

Bluetooth モジュールは、プロファイルを内蔵したタイプが一般的だと思います.一方、最近は**写真2**に示すようなプロファイルを内蔵していない安価なBluetooth ドングルをPICで制御する試みが Harada 氏 (Android OS) と筆者 (Windows OS) によって個別に行われ、それぞれのウェブサイト  $^{(1)}$  で公開されています.ここでは後者の成果を利用し、「GPIBケーブル1本より安価」をうたい文句に、GPIBの無線化を図りました.

- ▶プログラムを本誌ウェブページから無償で提供します PICマイコンのファームウェアやパソコンからのブラウザを開発する必要はありません。筆者が読者に提供するソフトウェアを以下に示します。
  - (1) PIC用ファームウェア(簡易 HID プロファイルを含む): B-GPIB
  - (2) パソコン用アプリケーション・ソフトウェア: Gpib\_HP3478A



(a) BT-MicroEDR1X (b) BT-Micro3E2X (c) BT-Micro3E1X 写真2 入手しやすくなった Bluetooth-USB ドングルを使うプロファイルを内蔵していない安価な製品